

調停者 国野寅平

幸会其ン調停者固野寅平トナリ 調停案トテ

人二名ヲ復形ニシムル三十

2. 争議ノ解雇者六名ニ計シ一人十圓定文外スル二十

3. 強留船夫ニ計シ一人十四圓貨典スル二十一

4. 解雇者六名ニ計シ二ヶ月分文外スル二十

但、會社一人定六十二円半割ニ計シ 社會局及東京市船夫一人
人一日終一円七十錢外ノニシム分百二十円右一中間八十二
円五十錢文外セラレ度シ

5. 争議中ノ費用ハ相互ニ於テ協意セラレ度シ

6. 搬出シタリニ船夫側ハ一旦引揚テ協議ニ爲メテ上第一項
第二項ハ前港ノ第二項ハ社公金ト同額ノ日割ニシム然ニシレ
人第三項ハ第二項ト合計ニシテ實費ニ關ス文外セラレ度シ
第四項ハ社會並ニ文外セラレ度シ

ト要ガシ

會社側ハ調停案ニ計シ

第一項ハ一名ニサレ度シ

第二項ハ會社ノ支拂ヨリシテ取一消シ第四項ニ加ヘラレ度シ

第三項ハ忘シ難シ

ト四本ノ尙双方ニ相尚、一過擧アリ調停者固野ノ折衝ノ為ナ
ク不調ニ後レリ

斯カラ調停者固野ハ兩者ノ間シ委託シタル爲メ浦ノ勞賃ノ安
協点ノ見出シ二十日後四時ヨリ

會社側 江波戸文店長外三名
組合側 新井兵太郎

船夫側 稲萬六次外六名

調停者 国野寅平

筆今是レ調停案ニ依リ折衝ノ結果 午後五時十分別記覺書